

番 号	27請願第 4 号 (即 決)
受理年月日	平成27年 8 月31日
件 名	「平和安全法制に関する意見書」撤回を求めることについて
提 出 者	三鷹市所在 平和安全法制に反対する三鷹市民有志一同 藤原真由美 神田 高 ほか 1,886人
紹 介 議 員	大城 美幸、嶋崎 英治、伊沢けい子
要 旨	
2015年 6 月30日の三鷹市議会最終日に、自由民主クラブ伊東光則議員より提出された「平和安全法制に関する意見書」が、3 会派の反対討論の末、自由民主クラブ、公明党の賛成により14対13の僅差で可決されました。 今国会で審議されている「平和安全法制案」は、日弁連が反対声明を出し、多くの憲法学者が憲法 9 条に抵触すると警鐘を鳴らし、世論調査でも「反対」が「賛成」を大きく上回っています。決して「国民の理解」を得られる状態にはありません。 21世紀は「平和の世紀」であるはずだったにもかかわらず、世界各地で戦争、内乱、テロが起こり、人々の生命と日常生活を脅かし続けています。また、一旦火ぶたを切った戦火は容易に収束を見ないことも周知の事実です。 日本は70年間戦争を行わず、国際社会において名誉ある地位を築き上げてきました。しかし、自衛隊が仮にたった 1 発弾丸を発射してしまえば、この努力は水泡に帰してしまいます。 したがって、私たちは表題の意見書の採択に抗議し、その撤回を求めます。	